令和6年 4月 日光市農業委員会総会議事録

日 時 場 所 令和6年4月19日 午後2時 日光市役所本庁舎会議室

出席農業委員	10名	1番 川村 耕一	2番 手塚 幸子	3番 高橋 和子	4番 福田 絹江
		5番 斎藤 敏夫	6番 加藤 英利	7番 神山 隆治	9番 高橋久美子
		10番 小池 毅	11番 渡邊 悦子		
欠席農業委員	なし				
出席推進委員	20名	12番 柏木 武	13番 福田富美男	14番 大島一比古	15番 富田 順子
		16番 福田 正明	17番 神山 守	18番 村上 隆	19番 酒主 学
		20番 星野由起夫	21番 西巻 光次	22番 福田 浩一	23番 柴田 洋一
		24番 吉原 浩之	25番 福田 重勝	26番 福田 隆夫	27番 大島 昭吾
		28番 阿久津文枝	29番 大貫 宣秀	30番 佐藤 修一	31番 小倉 政一
欠席推進委員	なし				
傍聴人	なし				
事務局	局長	川村賢一郎	係長 吉澤喜代子	副主幹 佐藤達起	主査 鶴見英明

- 第1 ー 議事録署名人の指名
- 第2 ー 会期の決定
- 第3 報告第6号 農地法第5条の規定による許可書の交付について
- 第4 報告第7号 農地法第18条通知について
- 第5 議案第23号 農地法第3条の規定による許可申請について
- 第6 議案第24号 農地法第4条の規定による許可申請について
- 第7 議案第25号 農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更について
- 第8 議案第26号 農地法第5条の規定による許可申請について
- 第9 議案第27号 買受適格証明願（農地法第5条第1項関係）について
- 第10 議案第28号 非農地証明願について
- 第11 議案第29号 農業経営基盤強化促進法第19条（農用地利用集積計画の公告）に基づく決定について
- 第12 議案第30号 農地中間管理事業の推進に関する法律19条の2（農用地利用集積計画の公告）に基づく決定について
- 第13 議案第31号 農地中間管理事業の推進に関する法律19条第3項の規定に基づく農用地利用集積等促進計画（案）の意見聴取について

局 長 それでは、日光市農業委員会総会規則第5条の規定により、会長を議長として会議を進めてまいりますので、よろしくお願いたします。
 本日の出席委員は、農業委員10名中10名であります。
 農業委員会等に関する法律第27条第3項に定める定足数を満たしておりますので、本総会は有効に成立しております。
 推進委員につきましても、20名全員の出席であります。
 また、本日の傍聴人は、いらっしゃいません。

福田 絹江
議長
局長

ただ今から、令和6年4月 日光市農業委員会総会を開会いたします。
本日の議事日程について、事務局長に朗読させます。
(議事日程を朗読)

議長

日程第1「議事録署名人の指名」を行います。議事録署名人については、議長において指名したいと思います。1番 川村耕一委員、2番 手塚幸子委員を指名いたします。

議長

日程第2「会期の決定」を行います。
本総会の会期につきましては、本日1日限りとしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。
(「異議なし」との声あり)
ご異議なしと認めます。
よって、本総会の会期は、本日1日限りとすることに決めます。
それでは、議事に入ります。
なお、報告事項や議案の説明にあたりましては、敬称を省略するなど、簡潔に説明をお願いします。

議長

日程第3、報告第6号「農地法第5条の規定による許可証の交付について」を議題とし、事務局の説明を求めます。

佐藤 副主幹

(佐藤副主幹挙手)
はい、佐藤副主幹。
総会資料1ページをお開きください。
報告第6号「農地法第5条の規定による許可証の交付について」ご説明いたします。
先月の5条申請案件は3件ございました。許可証につきましても、こちらの3件につきまして交付しております。譲渡人、譲受人、土地の所在につきましては申請のとおりです。総会審議日は令和6年3月22日。許可日及び指定番号につきましては3件とも令和6年3月22日付、日光農委指令第5-45号から47号で許可証を発行しております。

議長

以上ご報告いたします。
報告ではございますが、ご質問等ございましたらお受けいたします。
(「なし」との声あり)
それでは、次に移ります。

議長

日程第4、報告第7号「農地法第18条(通知)について」を議題とし、事務局の説明を求めます。

係 議長

(吉澤係長挙手)
はい、吉澤係長。
報告第7号「農地法第18条(通知)について」ご説明いたします。総会資料は2ページから6ページとなります。本案件は農地法第18条第6項の規定による通知があったことの報告となります。貸人・借人の住所、氏名及び土地の表示、解約理由等は通知のとおりです。件数は9件で、申請番号1番は農業委員会扱いの利用権の解約、申請番号2番から9番が市農業公社扱いの利用権の解約となります。

議長

以上、ご報告いたします。
報告ではございますが、ご質問等ございましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

それでは、次に移ります。

儀 長

日程第5、議案第23号「農地法第3条の規定による許可申請について」を議題といたします。

今月の現地調査は担い手育成部会が担当しております。小池部会長から全体説明をお願いいたします。

(小池委員挙手)

はい、小池部会長

小 池 委 員

今月の現地調査は担い手部会が担当しています。2班で編成しております。第1班が、高橋副部会長、富田委員、大島昭吾委員、福田会長が後見で同行していただいております。続いて2班は、小池、福田富美男委員、神山委員です。

議案の担当者について報告します。

まず、7ページの議案第23号農地法第3条、1番議案の説明は大島委員、2番から7番は連続で神山委員。続いて議案第24号農地法第4条について、1番が大島委員。10ページ議案第25号の2件については、事務局より議案説明いたします。続いて議案第26号農地法第5条、1番は福田委員、2番も福田委員、3番は神山委員。次のページ4番が富田委員、5番も富田委員、6番が福田委員。続いて13ページ議案第27号買受適格証明願については神山委員。続いて議案第28号非農地証明願、1番が大島委員、2番が富田委員、以上であります。よろしく申し上げます。

議 長

ありがとうございました。

それでは、番号1番について担当委員の報告を求めます。

(大島昭委員挙手)

はい、大島委員

大 島 昭 委 員

私は、総会資料7ページの議案第23号の1番を担当しました。

本申請は、日光市大室地内において、売買を目的とした3条申請です。

申請人、申請地等については資料のとおりです。

申請地は大室地内、大室十文字から北へ約600メートルに位置しています。

公図による説明。赤で囲んだところが申請地です。現地には譲受人の父親が立ち会って説明を受けました。

きれいに田うないがしてありました。

譲渡人が病気になってしまい、農作業ができないということで、売買の話がまとまったという説明を受けました。

譲渡人と受人は、お互いすぐ近くに住んでいて、隣同士のような関係で、売ります、買いますという話になったということです。

譲受人は家族2人、父親と娘さんだと思いますが、水稻と野菜を作付けしているということです。

申請地は譲受人宅のすぐそばでありまして、購入後も水稻の作付けを予定しているということでもあります。

農地法第3条第2項各号に該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議 長

ありがとうございました。

次に、現地調査後の検討・協議の結果について部会からの報告をお願いします。

(高橋久委員挙手)

高橋久委員 議 長 議 長 議 長 神山委員

はい、高橋副部長。

ただ今、大島委員の説明にもありましたように、売買による3条申請です。譲受人は譲渡人の隣家で、今後も水稻を作付する予定であることから、問題はないと思われます。ご審議のほどよろしく願います。

報告並びに現地調査後の部会での報告も終わりました。ここで担い手育成部会以外の皆様方のご意見・ご質問をお受けいたします。（「なし」の声あり）

それでは質疑を終結し、採決いたします。番号1番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。（全員挙手）

挙手全員であります。よって、番号1番は、原案のとおり許可することに決しました。

続きまして、番号2番、3番、4番、5番、6番、7番につきましては、関連がありますので、担当委員の一括報告を求めます。（神山委員挙手）

はい、神山委員。

私は総会資料の7ページから8ページの議案第23号の2番、3番、4番、5番、6番、7番を担当いたしました。

本申請は、日光市瀬川地区においてまとまっておりますので、一括して説明させていただきます。

案内図による説明です。場所は、東南に上今市の浄水場があります。北西がだいや川公園の管理事務所関係があります。そこに点在して今回の申請地があります。その中で本申請は、貸借を目的とした3条申請が2番、3番、4番、6番と、売買を目的とした申請が5番、7番となっています。

申請人及び申請地については資料のとおりです。

貸借人は北海道千歳市に本社をおく、資本金1000万円の株式会社です。現在、北海道に田11万平方メートルと畑21万平方メートルの農地を所有し、水稻、ジャガイモ等を作付けしております。

申請地に新たな拠点を設け、水稻、ジャガイモ、トウモロコシ、大根、白菜、ねぎ等を作付けする予定です。

従事者は北海道での農業経験10年以上の定住者3名となっております。現在、片付け等々ありまして、応援として2名、計5名がおりまして、地域社会に溶け込もうと頑張っているところです。

2番から、各公図の説明をさせていただきます。

登記簿地目は田、現況は田です。申請地にはブルーベリー等々が植わっていますが、現況は田ということです。全て今回4筆あるかと思いますが、同じような条件になっております。周りが全部水田になっております。

下側は東武電車の線路になっておりますので、問題はないかと思えます。

〇〇〇番地、これも申請地は田、現況は畑になっております。周りも同じようなところで、両方ともブルーベリーが植わっていました。

次に申請番号3番、申請地は3筆あります。

登記簿地目が畑、現況が畑です。3筆ありますが、こちらは何も耕作されていなくて、今回、作付けしようということで、トラクターできちんとうなっております。周りも全部畑ということで、何の問題もないかと思えます。

続きまして、申請番号4番、これも登記簿地目が田、現況も田になっております。

こちらは水稲ということで、今後、水田を行うところで耕運されて水が入るような状況になっていました。こちらの場所は、先ほどの全体図にあった今市浄水場の北になっていました。それともう一つ〇〇〇番地はブルーベリーが植わっています。この部分がちょっと離れていますが、これは実際くっついていません。こちら周りが水田になっていて、水田だったところにブルーベリーが植わっていました。

〇〇〇番地は申請番号2番に隣接している土地で、登記簿地目が田で、実際はこちらも隣と同じでブルーベリーが植わっていました。

続きまして、申請番号5番は1筆です。こちらは登記簿地目が田、現況が畑になっております。下側は路のゾーンになっております。

周りは水田、ハウス関係がありまして、下側もテントハウスとなっております。

申請番号6番は5筆あります。少し離れた位置に3筆と2筆あります。長細い赤い線も1筆になっております。大きな農道があり、左側の土地が畑と水田になっております。登記簿地目、現況ともに田になっております。状況としては、トラクターで耕運されて、水が入るような状況になっておりました。

〇〇〇番地ですが、上側が大きな農道になっていて、こちら左側の上側〇〇〇番地と〇〇〇番地、全て水田になっております。

〇〇〇番地の申請地は、現況、登記簿地目も畑になっております。トラクターでうなっており、今後の作付けがされる準備が整っている状況でした。

申請番号は6番の〇〇〇番地と〇〇〇番地は2筆であります。

登記簿地目、現況とも畑です。左側は住宅地になっております。〇〇〇番地の上側も住宅地になっております。この右側が細長い申請地になっておまして、道として利用していたらいいのですが、今はかなり草も生えてきている状況でありました。この〇〇〇番地のところも畑で柿の木か栗の木が数本植わっている状況です。

申請番号7番は、浄水場の上の日光街道沿いにあります。

登記簿地目、現況とも田になっておりますが、ブルーベリーの木が植わっております。

左側は住宅になります。この上側が譲受人の事務所兼駐車場で、こちらが住宅兼工場と思われる。こちらが住宅地になっております。こちらが水田になっております。

写真ですが、こちらが申請番号2番の〇〇〇番地、元水田だったと思うのですが、3筆はブルーベリーが植わっております。1筆は水田として使ったと思われるが、何も手つかずの状態です。

申請番号3番で、先ほど言いましたとおり3筆あります。

申請番号4番の〇〇〇番地、元水田で、同じようにブルーベリーが植わっております。2番3番も同じですが、ブルーベリーの所に小さくテープが貼ってありまして、日付とお名前が書いてありましたので、もしかするとオーナー制度のようなかたちで、ゆくゆくはオーナーの方が取りに来るのかというような推察です。

申請番号4番の〇〇〇番地、この左側が先ほどのブルーベリーの畑ですが、こちらが〇〇〇番地になっております。

申請番号4番の〇〇〇番地です。先ほどの〇〇〇番地が右側の写っていない所にありまして、〇〇〇番地がこの上になります。それと〇〇〇番地です。これは少し離れまして、先ほどの3番と2番の所の続きになるのですが、右側が先ほどの2番の申請地になります。トラクターが入るくらいの道があるのですが、手前の所が申請番号3番の3筆あった土地になります。実際こちらも田だ

ったのですけども、同じようにブルーベリーが植わっていて、オーナー制度と思われる印が付いておりました。

申請番号5番の〇〇〇番地です。電柱がある所に農道がありまして、ハウスとか温室の残骸があり、従業員らしき人が片付けていました。その奥の右側が東武線の線路に隣接した土地になっておりまして、元々田だったところを現況畑でブルーベリーが植わっていて、先ほどと同じくテープに名前が書いてありました。

申請番号6番の〇〇〇番地になります。

申請の地目が畑で、現況も畑になっております。1度うなったようで、マルチがされており、これから種を蒔くか何かをするような感じに見受けられました。周りは住宅地になっており、東側が長細い申請地になっております。南側が畑で、手前の所には栗とか柿の木が植わっておりました。

〇〇〇番地は長細い申請地になっております。以前農機具関係か道のようなかたちで使っていたのではないかなという形跡はありました。

〇〇〇番地になります。登記簿地目が田、現況も田になります。1度トラクターでうなった形跡がありまして、今後も水田として利用されると思います。

〇〇〇番地になります。半分が水田として利用するよう耕運されておりました。半分は何も手つかずというか、推測ですけどもブルーベリー等々が植えられるのではないかと思います。周りも住宅地と農場になっておりまして、住宅地と全て水田という形になっております。

〇〇〇番地になります。登記簿地目が畑、現況も畑です。道路と住宅、上側に東武線が走っております。

申請番号7番は今市浄水場の上です。

登記簿地目が田、現況地目も田になっておりますけども、見たとおりブルーベリーの畑になっております。周りは、工場みたいな建物と住宅地になっております。手前が水田です。

以上、写真のほうで説明させていただきました。

漠然とした説明で大変申し訳ないのですが、農地関係で北海道からの参入で、今3名が居住し、応援者が2名来られて、地域に溶け込んで今後がんばろうということですので、その辺ご理解いただきよろしく願います。

以上のように農地法第3条第2項各符号に該当しないため、許可要件すべてを満たしていると考えられます。ご審議のほどよろしく願いたいと思います。

議 長

はい、ありがとうございました。

次に、現地調査後の検討・協議の結果について部会からの報告をお願いします。

(小池委員挙手)

小 池 委 員

はい、小池部会長。

内容が盛沢山で十分把握出来てないかと思いますけれども、全体的に見ていただいてブルーベリー園が大半でした。3条申請ということで、これからもブルーベリー園を利用した農地利用をしていくものとみえました。

受人は、昨年12月に新たに県外から参入してきた農業法人であります。今回農地もすぐ近くだったので見してきましたけども、すでに敷地内に社名入りの看板も立っていて、地域に根ざした動きが始まっており、そういった面でもこれからも農地として利用していくものとみております。ただ、新たな新規参入法人ということもあるので、これからも農業委員会として見守っていきたいと考えます。

議 長

報告並びに現地調査後の部会での報告も終わりました。

ここで、担い手育成部会以外の皆様方のご意見・ご質問がありましたらお受けいたします。

(大島一委員挙手)

はい、大島委員。

大島一委員

今回、筆が多いので大変ご苦労様でした。1つだけ質問で、売買、賃貸、有償賃貸ということで、売買ですから、売買は3条申請で、現状が今説明あったとおり農地現状で、ブルーベリーでも農地の作付でも問題ないと思いますが、質問の内容で賃貸契約の中で、気になったのがオーナー制度と現調査の担当の方からお聞きしたのですが、賃貸契約でしたら何年なのかこの資料では分かりませんが、5年・10年となったとしても、有償賃貸契約で一定期間を定めて、貸手と借主の間で契約が成されると思うのです。申請書の中に細かに書いてあると思うのですが、オーナー制度がその間に入り込むと、当然県内には農地の全所有者8人の1対1のオーナーであれば、家族確認もやっていますから。賃貸契約する場合、その期間の中でオーナー制度を使う、当然収支という契約制度になると思います。この辺と賃貸とオーナー制度の出資者の問題で、8人、現既存の地主の方にリスク、不安材料は発生しないのかなという気がしたものですから、そういった質問です。

議長

(小池部会長挙手)

はい、小池部会長。

小池部会長

あくまでも私見ですけども、仮にオーナー制度だとしても、生えているもので地面ではないので、ある意味利用権の範囲内ではないのかなと思います。地上権という範疇で判断できるのではないかなと思います。

議長

ただ今の質問について、事務局としての意見はございますか。

大島一委員

申請の受付の時点で、賃貸契約書の中に借主は有償でお金を払うのだから、一切の件は借主の法人に委ねて、問題ないというような内容的なものは記載されていればよろしいと思うのですが、そのような感じで受け付けになっているのですか。

鶴見主査

(鶴見主査挙手)

はい、議長。

議長

はい、鶴見主査。

鶴見主査

事業の計画におきましては、今後ジャガイモとかトウモロコシ、大根、水稻を作付していく予定でいるようです。現地を見た限りではブルーベリーがあったので、そここのところが今後どうなるか不透明なところがあるものですから、何とも言えないのですが、計画の時点ではブルーベリーをどうするというようなことは計画上ないものですから、分からないところです。

大島一委員

分かりました。部会長がお話したように、土地と切り離して、地上の作物だけのオーナーということで問題ないかもしれませんので、そういう心配はないのかなと。あくまでも地主との賃貸契約なので、年代的に将来保護するという意味で、こういったものが出た場合に、賃貸契約は何れか終わりがきます。その間に保護する意味でこういったものが発生したら、やはりオーナーですから権利を主張した場合にということで質問しました。作物の部分だけにオーナーの権利を持つということで解釈しました。それが正しいかどうか分かりませんが、茂木のナシとかよくあります。第三者の法人がいいことなので、荒廃地にならないように、これからもこういったケースが増えてくるような気がします。ですから、現実的に問題はしっかりと捉えていったほうがいいと思いますので、質問させていただきました。

議長

はい、事務局補足的な説明ありますか。

吉澤係長

先ほど、小池部会長のほうで説明がありましたとおり、基本的にはオーナー

議 長 制度の部分についても、上物についての期間契約になるかと思います。当然賃借借をしているということは、地面にのっている上物についても、当然期間があるものを契約しているというふうに解釈されるかと思うので、先ほど小池部会長の説明があったものと、事務局としても考えております。

加 藤 委 員 それでは、この件につきましてはよろしいでしょうか。
 （ 「なし」の声あり ）
 他に何かございますか。
 （ 加藤委員挙手 ）
 はい、加藤委員。

加 藤 委 員 申請番号6番の公図と総会資料の6番の〇〇〇番地と〇〇〇番地を見せてください。枝番がないのですが。

吉 澤 係 長 349-1と公図に記載があるのですが、申請書は〇〇〇番地で申請がありまして、提出された公図の表記は〇〇〇番地-1となっているので、書類としまして提示させていただいているのは〇〇〇番地-1と表示されておりますが、内容としては〇〇〇番地になります。

加 藤 委 員 〇〇〇番地も同様でして、申請は〇〇〇番地になっておりますが、公図は〇〇番地-1と表示されております。

吉 澤 係 長 〇〇〇番地-1と〇〇〇番地-1というのが申請されているのですか。

加 藤 委 員 申請書類は〇〇〇番地と〇〇〇番地です。

吉 澤 係 長 それはどこですか。

加 藤 委 員 登記事項の全部事項証明が添付されておりまして、そちらは〇〇〇番地と〇〇番地ということで提出をされています。公図が発行されたのは3月ではありますが、実際の備え付けの時点が古いものですので、公図の番地の記載のほうに誤っていると思われま。

加 藤 委 員 公図が間違っていると言って大丈夫ですか。

議 長 （係長挙手）

吉 澤 係 長 はい、吉澤係長。

吉 澤 係 長 先ほどの住所地〇〇〇番地と〇〇〇番地につきましては、全部事項証明書の番地は〇〇〇番地と〇〇〇番地になっておりますが、公図の表記のほうでは〇〇番地-1と〇〇〇番地-2、〇〇〇番地-1と〇〇〇番地-2のほうは、記載されている状況です。

議 長 公図はこういった状況になっておりますが、現地を確認したところ土地の場所は間違いない状況ですので、それぞれの枝番については後ほど確認をしまして、後日報告させていただきます。

加 藤 委 員 ただ今事務局から説明がありましたが、納得していただけたでしょうか。

吉 澤 係 長 加藤委員いかがですか。

加 藤 委 員 後日というのはいつですか。

議 長 次回の総会までに報告できるようにいたします。
 （ 加藤委員挙手 ）
 はい、加藤委員。

加 藤 委 員 事務局にお願いなのですが、登記簿地目が田となっていて、現在地を見たらブルーベリーが植えてあって畑ですということであれば、昨日今日植えたブルーベリーの様子ではないようです。報告上でブルーベリーが植えてありましてと散見されるので、こういうところは資料を畑にして作っておいてほしいです。

議 長 （ 吉澤係長挙手 ）

吉 澤 係 長 はい、吉澤係長。

吉 澤 係 長 総会資料の現況につきましては、現地調査の前に作成して皆様に配付をして

おりますので、申請と農地台帳を基に作らせていただいています。実際に調査
 のものを反映するというのは難しい状況です。

議 長 そのようなことですので、ご理解の上、資料をご覧になっていただきたいと
 思います。

他にありますか。

(川村委員挙手)

川村委員 長 はい、川村委員。

何年の契約で賃借していますか。

(鶴見主査挙手)

鶴見主査委員 長 はい、鶴見主査。

賃借権は3年になっております。

川村委員 長 全部3年ですか。

鶴見主査委員 長 議案3の6のほうは3年になっていまして、議案3の4が5年になります。

他に何かありましたら、お受けいたします。

(「なし」の声あり)

ないようですので、それでは質疑を終結し、採決いたします。

議 長 番号2番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求
 めます。

(挙手全員)

議 長 挙手全員であります。

よって、番号2番は、原案のとおり許可することに決しました。

議 長 続いて番号3番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙
 手を求めます。

(挙手全員)

議 長 挙手全員であります。

よって、番号3番は、原案のとおり許可することに決しました。

議 長 続いて番号4番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙
 手を求めます。

(挙手全員)

議 長 挙手全員であります。

よって、番号4番は、原案のとおり許可することに決しました。

議 長 続いて番号5番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙
 手を求めます。

(挙手全員)

議 長 挙手全員であります。

よって、番号5番は、原案のとおり許可することに決しました。

議 長 続いて番号6番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙
 手を求めます。

(挙手全員)

議 長 挙手全員であります。

よって、番号6番は、原案のとおり許可することに決しました。

議 長 続いて番号7番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙

手を求めます。
 (挙手全員)
 議 長 挙手全員であります。
 よって、番号7番は、原案のとおり許可することに決しました。

議 長 続きまして、日程第6、議案第24号「農地法第4条の規定による許可申請について」を議題とし、番号1番について、担当委員の報告を求めます。
 (大島昭委員挙手)
 大島昭委員 はい、大島委員。
 私は総会資料9ページ、議案第24号の1番を担当しました。
 本申請は、日光市大沢地内において、長屋住宅の建築を目的として転用する4条申請の案件です。
 申請人・申請地等は資料のとおりです。
 案内図による説明。大沢地内、国道119号線大沢交差点より北へ200メートルのところに位置しています。
 登記簿地目は田で、現況は畑です。稲は見受けられなくてソバの茎の跡が残っていました。
 周囲の状況は、東側は低いのですが畑になっています。こちらは青地だと思っておりますが、公図に線がありますが現況は国有地の境界はありませんでした。西側は道路。南側は宅地、北側は赤道です。下は低くなって畑で、そういう位置関係にあります。
 当該地〇〇〇番地ですが、登記の面積2,244平方メートルと書いてありますが、その一部961平方メートルを農地転用する申請です。残りは分筆されていませんが、いずれ分筆するという話を受けております。
 土地利用計画です。現地には土地家屋調査士事務所の測量士が立ち会いました。
 申請地を長屋住宅に利用するというので、杭打ちがしてありました。
 当該申請建物は、1戸の床面積が1階が8.2坪、2階も同じで、上下合わせて16.5坪の住居で、8戸の集合住宅です。1棟全体の建築面積は68.7坪。延床は132.2坪。木造2階建になります。給排水は公共上水道、下水道を利用します。雨水は敷地内浸透処理し、周囲に雨水が流出しないようブロック組の柵をします。ここに雨水を流し込んで地下水と混ぜます。
 資金計画ですが、1億3,000万円の融資証明書が添付されております。
 昔は水稻、最近はソバを作っていたという話でした。
 周りに及ぼす影響はないということで、許可相当かなと思いますので、ご審議の程よろしく申し上げます。

議 長 次に現地調査後の検討・協議の結果について、部会からの報告を求めます。
 (高橋久委員挙手)
 高橋久委員 はい、高橋副部長。
 家族で営農できる者がいなくなり、本人も高齢となったことから、今回の長屋住宅の申請となりました。
 申請地の残りの部分は、今後も農地として残すそうです。
 出入口等の確認はしてきました。許可するのに問題はないとの部会での見解です。ご審議の程よろしく申し上げます。

議 長 事務局のほうから付け加えることがあるとのことなので、申し上げます。
 (佐藤副主幹挙手)
 佐藤副主幹 はい、佐藤副主幹。
 先ほどの公図の中に、敷地面積のうち961平方メートルという記載があり

議 長 ますが、議案書の956平方メートルが正しいものです。申請書に記載されているものと添付されている求積図は956平方メートルとなっております、公図の記載に誤りがありました。

議 長 公図に記載されている数値の訂正です。報告並びに現地調査後の部会の報告も終わりました。ここで担い手育成部会以外の皆様方のご意見・ご質問をお受けいたします。（「なし」の声あり）

議 長 それでは質疑を終結し、採決いたします。番号1番について、原案のとおり許可とすることに賛成の農業委員の挙手を求めます。（全員挙手）

議 長 挙手全員であります。よって、番号1番は、原案のとおり許可とすることに決しました。

議 長 続きます、日程第7、議案第25号「農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更について」を議題とし、番号1番について、事務局の説明を求めます。（佐藤副主幹挙手）

佐藤副主幹 はい、佐藤副主幹。総会資料10ページ、議案第25号「農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更の申請について説明します。1番の案件につきまして、本申請は園芸用土採取を目的とし、令和5年4月20日付 日農委指令第5-7号より一時転用の許可を受けた案件です。変更理由は、当該地の鹿沼土・赤玉土の納品に時間を要したため、予定期日までの完了が難しいと判断され、事業計画の延長となったものです。変更内容は、工期計画を当初の令和6年4月20日までから、令和7年4月20日まで1年間の延長を行うものです。

議 長 説明が終わりました。番号1番について、ご質問等ございましたらお受けいたします。（「なし」の声あり）

議 長 それでは質疑を終結し、採決いたします。番号1番について、原案のとおり変更妥当とすることに賛成の農業委員の挙手を求めます。（全員挙手）

議 長 挙手全員であります。よって、番号1番は、原案のとおり変更妥当とすることに決しました。

議 長 続きます、番号2番について、事務局の説明を求めます。（佐藤副主幹挙手）

佐藤副主幹 はい、佐藤副主幹。2番の案件について説明いたします。総会資料は同じく10ページになります。本申請は、一般住宅を目的としまして、昭和48年6月1日付栃木県指令上農政第5-1738号で5条の許可を受けた案件となります。変更理由ですが、こちらの農地につきまして、転用許可後に譲受人の東京への転勤が決まりまして、住宅を建築しないまま現在に至ったものとなります。譲受人は、今後、日光市に居住する見込みがないことから、この農地を贈与することになり、新たな譲受人が農地転用を承継しまして、住宅を建設するこ

とになったものです。変更内容としましては、許可の承継と工期計画の変更となります。

通常であれば、事業計画変更の手続きをもちまして、承継の手続きというものは出来るものになりますが、当初の許可から相当の年数が経過しておりまして、許可基準等が現在と異なることもあるため、今回の事業計画変更に加えまして、現所有者、引き継ぐ承継者の人を譲受人とする5条許可申請につきましても、合わせて提出されております。そちらにつきましては、議案書11ページ議案第26号農地法第5条の許可についての2番の案件となっております。

議長

説明が終わりました。

番号2番について、ご質問等ございましたらお受けいたします。

(川村委員挙手)

はい、川村委員。

川村委員
佐藤副主幹
川村委員
議長

譲渡人と譲受人は、どういう関係なのですか。

新しい譲受人は、義理の弟の方と伺っています。

はい、分かりました

他に何かございましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

それでは、採決に移ります。

番号2番について、原案のとおり変更妥当だとすることに賛成の農業委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

議長

挙手全員でございます。

よって、番号2番は、原案のとおり変更妥当とすることに決しました。

(休憩 午後3時37分)

(再開 午後3時50分)

議長

日程第8、議案第26号「農地法第5条の規定による許可申請について」を議題とし、番号1番について、担当委員の報告を求めます。

(福田富委員挙手)

福田富委員

はい、福田委員。

私は、総会資料11ページ、議案第26号の1番を担当しました。

本申請は、日光市猪倉地内において、一般住宅を目的として転用する案件です。

申請人及び申請地は資料のとおりです。

申請地は猪倉地内、日光方面から向かって下猪倉交差点を右折し1.8キロメートル先が現地になります。

登記簿地目は畑、現況も畑です。

周囲の状況は、東側は宅地、西側は畑、南側は道路、北側は畑です。

現地には譲受本人と行政書士が立ち会いました。

申請地を一般住宅に利用する計画で杭打ちがしてありました。

家への乗り入れは南側の道路を利用しまして、既存道路は隣人の私道のために利用せずに、別に作るそうです。

給排水は公共上水道を利用し、下水は敷地内合併浄化槽で浸透処理、雨水は庭を砂利敷にして敷地内浸透とします。

現地は、道路からみるとかなりの傾斜なので整地して、家を建てるそうです。出入口は転圧をして砂利は流れないようにするそうです。段差がありますので、そこが乗入口になると聞いています。

以上のことから、周りに及ぼす影響は少ないと思いますので、ご審議の程よ

ろしくお願いします。

また加えますと、この下が推進委員の方の土地なので、目配りされる感じになると思いますので、あまり悪いことはできないかなという気がします。

議長 ありがとうございます。

次に、現地調査後の検討・協議の結果について、部会からの報告をお願いします。

(小池委員挙手)

はい、小池部会長。

小池委員 今回の申請については、第1種農地ということで、原則転用不可という事例にあたりますが、農振農用地の区域外ということもあり、第1種農地であっても例外規定がいくつかあります。例えばエコ住宅であったり、農業用施設であったり、公益性の高い施設は転用の許可が下りるとということで、今回の申請については、集落接続事業ということで受理に至ったということです。

議長 この辺について疑問点がありましたら、事務局のほうから説明いたします。

議長 はい、ありがとうございます。

それでは、最初に事務局から説明をお願いします。

(佐藤副主幹挙手)

はい、佐藤副主幹。

佐藤副主幹 第1種農地は原則転用不可となっておりますが、不許可の例外というものがあり、農業用施設、その他地域の農業振興に資する施設等が該当します。

住宅につきましては、特に農家住宅、分家住宅というものに限定はされておりませんが、許可ができる条件として「住宅、その他申請に係る土地の周辺の地域において居住する者の日常生活上、または業務上必要な施設で、集落に接続して設置されるもの」というものがございます。ここでいう集落につきましては、具体的な基準があるわけではありませんが、国から示されているものとして「相当数の家屋が連たんして集合している区域。ただし農村地域におきまして、様々な集落の形態があるところ、必ずしもすべての敷地が連続している場合でも、一定の連続した家屋を中心として、一定の区域に家屋が集中している場合に1つの集落として取り扱って差し支えない」とあります。

申請地周辺につきましては、敷地同士の間隔は割とありますが、県道と並行する道に沿いまして、いくつかの住宅が農地を挟む形ですが連続し、集落を形成しております。今回はその集落に接続設置される一般住宅ということで申請されています。

この場所が選ばれた理由としましては、申請人のご両親がこの近くの分譲地に住んでおり、その近くに住宅敷地を探しておりましたが、近隣の土地の多くが農振地域にかかり転用が難しい等条件に合う土地が見つからなかった中、この場所について譲渡人からご協力を得られたことによるものです。

議長 報告並びに現地調査後の部会での報告、並びに事務局からの補足の説明も終わりました。

ここで、担い手育成部会以外の皆様方のご意見・ご質問をお受けいたします。いかがでしょうか。ありませんか。

(「なし」の声あり)

議長 それでは質問もないようですので、採決に移ります。

番号1番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

(全員挙手)

議長 挙手全員であります。

よって、番号1番は、原案のとおり許可することに決しました。

議長
福田富委員

続きまして、番号2番、担当委員の福田委員お願いします。
総会資料11ページの26号の2番を担当しました。
本申請は、日光市土沢地内において、一般住宅を目的として転用する案件です。先ほど事務局より、議案25号で説明された案件です。
下野大沢駅から西に100メートル行ったところに現地はあります。
東が道路、西が宅地、北が宅地、南も宅地です。各家庭の塀が建っておりまして、宅地の中に囲まれた宅地です。
現地には譲受人、行政書士が立会いました。
申請地を一般住宅に利用する計画で杭打ちがされていました。杭打ちするよりも囲まれているので、何も打たなくても済むような状況でした。
給排水は公共の上下水道。敷地内に汚水桝のマンホールがあるので、下水はすぐに直結できるような状況です。
敷地内は、雨水は敷地内浸透、砂利敷きとします。
譲受人と息子が住宅を建てるということでした。
もう一つ、U字溝が入っているので、雨水が入ってもこのU字溝に入って流れるということで、周囲に影響はないと思われます。
下野大沢駅の西側ロータリーの近くで隣接住宅の石塀で三方を囲まれています。48年に農地転用したのですが、ここは空いていまして、住宅を建てないで行ってしまって、転用はかけたので、宅地並みに税はかかっているということは立会人が話してくれました。転用することは問題ないという感じはいたします。

議長

長
以上のことから、周りに及ぼす影響がないと思われますので、ご審議のほどよろしく申し上げます。

それでは、現地調査後の検討・協議の結果について部会からの報告をお願いします。

(小池委員挙手)

小池委員

はい、小池部会長。

見てのとおりです。現況地目もすでに宅地になっているので、許可することに問題はないと考えます。

議長

長
報告並びに現地調査後の部会の報告も終わりました。

ここで担い手育成部会以外皆様方のご意見・ご質問をお受けいたします。ありませんか。

(「なし」の声あり)

議長

長
それでは、番号2番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

議長

長
挙手全員であります。

よって、番号2番は、原案のとおり許可することに決しました。

議長

長
続きまして、番号3番について、担当委員の報告を求めます。

(神山委員挙手)

神山委員

はい、神山委員。

私は、総会資料11ページ、議案第26号の3番を担当いたしました。

本申請は、日光市手岡地内において、園芸土の採取を目的として転用する案件です。

申請人及び申請地等は、資料のとおりです。

案内図による説明、申請地は手岡地内、新里街道の猪倉交差点から西へ約3

キロメートル離れたところがございます。ゴルフ場の入り口に隣接しているところと

ころです。
公図による説明、登記簿地目は山林、現況は田です。田と言っても約3年から5年くらいは作られていないような感じでありました。

周囲の状況は、東側が道路、こちらに家と倉庫がありました。南側がゴルフ場に接続する接続道になっています。西側が雑種地、北側が防風林みたいな大きな黒木、スギ、ヒノキ等々がありました。木の向こう側は畑だったと思いますが、一段高い位置にあったと思います。

土地利用図による説明、現地には行政書士が立ち合いました。申請地を用地採取等に利用する計画を提示され、杭打ちがされていました。この角々すべてに杭打ちがされて、リボン等がかかっておりました。

周りですが、採取するにあたり用土を搬出するので、周り2メートルぐらい内側に、転落防止用のネットを張るということです。基本4トンダンプを利用して作業します。埋戻用の用土ですが、鹿沼の園芸業者の培養土関係を作った時に出る残土があり、それを利用して埋め戻しをするということです。こちらがその断面図になります。表面から約70センチメートル、黒土を1回寄せまして、その下を採掘するというかたちになります。

採掘角度ですが、基本45度に採掘する予定です。

雨水等は地域内浸透というかたちになってしまいます。

出入りですが、南側のところ、ゴルフ場の接続道と説明しましたが、そこから入るかたちになっております。現在こちらの道ですが、1軒家があったのですが、今は廃墟みたくなくて、家と倉庫はありますが、建物は建っていませんが住んでいません。

現況の写真です。田ということで平らにはなっていますが、耕作は数年作られておらず、このようなかたちになっています。こちらが西面、こちらが南面で、これがゴルフ場の接続道になっています。この鉄柵から2メートル内側に転落防止用のネットを巻くかたちになっております。北側は防風林みたいな大きな黒木とかいろいろありました。

以上のことから、周りに及ぼす影響もないと思われま。ご審議のほどよろしくお願いたします。

議 長 次に、現地調査後の検討・協議の結果について部会での報告をお願いします。

(小池委員挙手)

小池委員 はい、小池部会長。

議 長 説明のとおりであります。園芸土採取のための一時転用ということで、許可することに問題ないと部会では判断しました。

報告並びに現地調査後の部会での報告も終わりました。

ここで担い手育成部会以外の皆様方のご意見・ご質問をお受けいたします。いかがでしょうか。

議 長 (「なし」の声あり)

ないようですので、採決に移りたいと思います。

番号3番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

議 長 (挙手全員)

挙手全員であります。

よって、番号3番は、原案のとおり許可することに決しました。

議 長 続きまして、番号4番、5番については、関連がありますので、担当委員の

一括での報告を求めます。
(富田委員挙手)
はい、富田委員。
富田委員 私は、総会資料12ページ、議案第26号の4番、5番を担当しました。
受人から見まして、4番の渡人は父、5番は祖父です。
本申請は、日光市森友地内において、一般住宅を目的として転用する案件です。
申請人及び申請地等は、資料のとおりです。
申請地は森友地内、国道119号線に向かって100メートルほど行った右側です。
登記簿地目は畑、現況も畑です。
周囲の状況は、東側が宅地、西側が市道です。南側も宅地、北側も宅地です。この場所を選んだのは、周りが全て宅地で、農地に隣接していないということが一番の理由だそうです。
現地には渡人である父親と行政書士が立ち会いました。
申請地を住宅用地に利用する計画で、ポールが立ててありました。
給排水は、公共の上下水道を利用し、雨水は敷地内浸透処理します。
こちらがおじいさん、こちらがお父さんの土地だそうです。今、作物はいろいろ作ってありましたが、道路を挟んで反対側にお父さんの家があって、こちらにも大きなハウスが建ててありましたので、現地のハウスに今は苗が入っていましたが、これくらいはいくらでも移動できますというお話でした。
以上のことから、周りに及ぼす影響もないと思われます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。
議長 ありがとうございます。
次に、現地調査後の検討・協議の結果について部会の報告をお願いします。
(高橋久委員挙手)
はい、高橋副部長。
高橋久委員 親族間の使用貸借による、一般住宅を目的とした案件です。説明がありましたように、現在作付けしているものが移動できることや、身内で利用したい、家を建てたいというようなときには、すぐにでも提供できるような場所と面積を残しておいたのかなというような土地でした。許可するのに問題はないと思われまます。ご審議のほどよろしく申し上げます。
議長 報告並びに現地調査後の部会報告も終わりました。
ここで、担い手育成部会以外の皆様方のご意見・ご質問をお受けいたします。
(「なし」の声あり)
議長 「ない」というご意見ございましたので、採決に移ります。
番号4番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。
(全員挙手)
議長 挙手全員でございます。
よって番号4番については、原案のとおり許可することに決しました。
議長 続いて番号5番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。
(挙手全員)
議長 挙手全員であります。
よって、番号5番は、原案のとおり許可することに決しました。

議 長 続きまして、番号6番について担当委員の報告を求めます。
(福田富委員挙手)

福田富委員 はい、福田委員。
私は、総会資料12ページ、議案第26号の6番を担当いたしました。
本申請は、日光市所野の地内において、贈与を目的とし転用する案件です。
申請人及び申請地等は、資料のとおりです。
申請地は、所野地内、日光運動公園から北へ約100メートルになります。
現地には、譲受人と、行政書士が立ち会いました。
申請地を宅地の拡張及び取付道路に利用する計画で、杭打ちがされておりました。
ここが譲受人の宅地ですが、取り付け道路も自分の土地であるつもりでいたのですが、最近測量したら、宅地が飛地ということが判明いたしました。取付道路が進入路ではなくて農地とわかったため、進入路として利用するという案件でございます。給排水等はありません。
東側から撮った写真です。住宅はここにあるのですけれど、この区画が飛地になっていたという話で、住宅に入ってくる進入路です。こちらの宅地の石垣が組んでありまして、境界ははっきりしております。ここが農地ですから、合わせてこちらの住宅の宅地拡張と進入路のために申請したということです。道路として利用しておりましたので、始末書が添付されております。
以上ことから、周りに及ぼす影響はないと思われまので、ご審議のほどお願いいたします。

議 長 はい、ありがとうございました。
次に、現地調査後の検討・協議の結果について、部会からの報告をお願い致します。

小池委員 (小池委員挙手)
はい、小池部会長。
農地ではありますが、すでに長年住宅への進入路として使用してきております。これがなくては入れない状態ですので、許可することに異議はないと考えます。

議 長 報告並びに現地調査後の部会での報告も終わりました。
ここで、担い手育成部会以外の皆様方のご意見ご質問をお受けいたします。
ありませんか。

議 長 (「なし」の声あり)
はい、それでは採決に移ります。
番号6番について、原案のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

議 長 (挙手全員)
挙手全員でございます。
よって、番号6番は、原案のとおり許可することに決しました。

議 長 続きまして、日程第9、議案第27号「買受適格証明願（農地法第5条第1項に關係）について」を議題として、番号1番について、担当委員の報告を求めます。
(神山委員挙手)

神山委員 はい、神山委員。
私は、総会資料13ページ、議案第27号の1番を担当いたしました。
はじめに買受適格証明について説明いたします。農地が裁判所の競売にかけ

られた場合、その入札に参加するためには、農地法の許可を受ける見込みのある者であることを証明する書類が求められます。これを買受適格証明と言います。

本議案については、転用の許可相当かどうか、それにより証明妥当かどうかを審議するものです。

なお、申請地の落札後は、改めて5条の許可申請が行われ、総会において審議することになります。

申請人及び申請地等は、資料のとおりです。

本申請は、日光市小代地内において、裁判所競売にかけられた農地を取得し、プレカット業者による倉庫並びに中継基地、もしくは太陽光発電施設等を目的とした転用を予定している案件です。

申請人及び申請地等は 資料のとおりです。

案内図による説明。

申請地は小代地内にあります。南西に下小代駅があります。

申請地は、そこから北東へ約750メートルの位置にあります。

公図による説明。

登記簿地目は、畑、現況は畑、宅地、山林原野となっております。

周囲の状況は、4筆まとまっておりますので、その辺で説明させていただきたいと思います。

まず、北側が山林及び〇〇〇番地等は畑となっております。こちらが山です。東側の隣地の二区画に元の家がありました。今は住んでおられません。進入路のところにトタンのような壁がありました。その外側が進入路になっていて、雑種地になります。

南側も畑になっているのですが、トタン板の壁のようなものが張ってありまして進入路になっています。西側は、山林及び雑種地になっています。ゆくゆくは、板橋バイパスの予定地になるそうです。

現地には、兵庫県の不動産業者の方が1名立ち会いました。

申請地を、倉庫並びにプレカット業者の中継基地、もしくは太陽光発電等々に利用するというようなことですが、実際落札されるかどうか不明ですので、目的はそのようなかたちで進めたいということでありました。

写真による説明。ここにあるタンクは、西側の板橋バイパスになる隣接したところにありました。手前側右側のほうが約2万リットル入る灯油のタンクです。奥が1万8,000リットル入るA重油のタンクとなっております。こちらが、そのタンクからの引き込みで給油の施設となっております。使用期限は令和4年度までの刻印がされておりました。

こちらは右下から進入してきまして、〇〇〇番地になります。隣接する建物は、今は居住しておられません。

こちらが〇〇〇番地で、私達も初めは大きな道路から入ってくるのですが、この道ではなくて、内側に杭打ちがされていまして、こちらが〇〇〇番地になります。こちらが〇〇〇番地倉庫の裏側の土地になります。

以上ですけれども、実際競売で落札された場合、この土地としての利用をする前に、とりあえず草刈り等々はやるつもりだと言っております。その後どのような利用になるのかというのは、先ほど示したとおりだと思うのですが、状況により変わるかもしれないということでした。

以上のことから、買受適格証明に問題なしと思われまますので、ご審議のほどよろしくお願い致します。

はい、ありがとうございました。

次に、現地調査後の検討・協議の結果について部会からの報告お願い致します

議 長

す。

(小池委員挙手)

はい、小池部会長。

小池委員 部会としても大変困った案件で、この証明願自体初めての案件でもあり、さらに現地調査をした内容もかなり問題が多いものです。ただ、競売になって権利が譲渡されたあかつきには、この申請のとおりやっただけであればいいと希望する次第です。よろしくお願ひします。

議長 はい、報告並びに現地調査後の部会への報告も終わりました。

ここで、担い手育成部以外の皆様方のご意見・ご質問をお受けいたします。

(加藤委員挙手)

はい、加藤委員。

加藤委員 事務局に聞きたいのですが、この願出人の方というのは、どのような方ですか。

議長 (佐藤副主幹挙手)

はい、事務局。

佐藤副主幹 こちらの申請につきましては、兵庫県におきまして不動産管理、それから土木建築工事、解体業などを行う業者です。

今回の申請地設定されました理由としましては、新潟県にグループ会社がありまして、そちらのほうで、今後北関東への事業拡大を計画するにあたりまして、本件土地を中継基地として利用できる場所を探していたところ、競売案件で見つけたということで、今回、入札のほうを検討されたということです。

加藤委員 特別、農業をやっているとかではないのですか。

佐藤副主幹 農業者の方ではないです。

議長 はい、他にご質問ありませんか。

(川村委員挙手)

はい、川村委員。

川村委員 適格証明願で証明された場合に、また5条でこの案件が出てくる可能性はあるのでしょうか。

議長 (佐藤副主幹局挙手)

はい、佐藤副主幹。

佐藤副主幹 こちらの案件につきましては、落札後は5条の申請は出てくることになっております。落札後に5条の許可が出せないという状態になってしまいますと所有権移転ができないこととなり問題となりますので、入札の前にこういった審査が行われるというものになります。

議長 他に何かありますか。

加藤委員 この人が裁判競売で買って取得した場合、そのあと5条で出てきたとき、わけのわからない構造物についてはどういう考え方すればいいのか。

議長 (吉澤係長挙手)

はい、吉澤係長。

吉澤係長 こちらについては、現地調査のときに立合者に確認しましたところ、実際に先ほどのタンクなどは、仮に撤去するにしても莫大なお金が掛るということで、当面は倉庫と周辺を草刈りして、駐車場などの中継基地として利用する予定で、タンクなどは当面そのままにしておくというような話でした。

議長 他にありますか。

(佐藤副主幹挙手)

はい、佐藤副主幹。

佐藤副主幹 買受適格証明につきましては、3条と5条のものがございます。今回は5条になります。転用を前提とした購入ということです。購入して転

用する方もいれば、農業者として農地でされる方もいます。

議 長 他に何か質問等ございますか。
(「なし」の声あり)

議 長 ないようでしたら、質疑を終結して採決に移りますがよろしいでしょうか。
それでは、番号1番について、原案のとおり証明妥当とすることに賛成の農業委員の挙手を求めます。
(全員挙手)

議 長 はい、挙手全員であります。
よって、番号1番は、原案のとおり証明妥当とすることに決しました。

議 長 続きまして、日程第10、議案第28号「非農地証明願について」を議題として、番号1番について、担当委員の報告を求めます。
(大島昭委員挙手)

大島昭委員 はい、大島委員。
私は、総会資料14ページ、議案第28号の1番を担当しました。
本申請は、日光市湯西川地内において、長年下水道をポンプ場として利用されている案件です。
願出人、願出地は資料のとおりです。
案内図による図面、願出地は湯西川地内、湯西川上集会所から東へ150メートルに位置しています。県道黒部西川線に面した場所です。
公図による説明、登記簿地目は畑、現況宅地ということで、下水道のポンプ施設が中に入っている建物がありますが、今回の願出地です。栗山村時代の昭和56年に、ポンプ場として利用されてきて、40年以上経過しているということです。
今回願出人が立ち会い、当該ポンプ施設は下水のポンプアップの用途に利用されているということでした。
建物の底地には他人の土地もあるため、当該地をポールで示している写真です。ポンプ施設は昭和56年に設置されて、現在に至っています。ポンプは使っているということです。
今回、登記簿が畑だということが分かりまして、本願いに至ったという話をしておりました。
以上のことから、証明することに問題はないと思われれます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

議 長 ありがとうございます。
次に、現地調査後の検討・協議の結果について部会から報告をお願いします。
(高橋久委員挙手)

高橋久委員 はい、高橋副部長。
補足ですが、向いの旅館の方がポンプ場を含む土地を、隣の家の方から購入したら、下水道ポンプ施設が農地であることが分かり、今回の申請となりました。
証明することに問題ないと思われれますので、ご審議のほどよろしく願いします。

議 長 報告並びに現地調査後の部会での報告も終わりました。
ここで担い手育成部会以外の皆様方のご意見・ご質問をお受けいたします。
何かありますか。
(「なし」の声あり)

議 長 ないという発言がございましたので採決に移ります。
番号1番について、原案のとおり証明妥当とすることに賛成の農業委員の挙

手を求めます。
(挙手全員)
議 長 挙手全委員でございます。
よって、番号1番は、原案のとおり証明妥当することに決しました。

議 長 続きまして、番号2番について、担当委員の報告を求めます。
(富田委員挙手)

富田委員 はい、富田委員。
私は、総会資料14ページ、議案第28号の2番を担当しました。
本申請は、日光市町谷地内において防風林敷地として利用しています。
願出人、願出地は資料のとおりです。願出地は町谷地内、関の沢集会所から
北へ150メートルです。
登記簿地目は畑、現況は山林です。
現地には、願出人と行政書士が立ち会い、ポールを立ててありました。
願出地は、昭和35年頃から北西の風が自宅屋敷に吹き込むため、防風林敷
地として利用しており63年が経過しています。平成12年の空中写真です
が、小さくてかなりわかりづらいです。近いうちに3条の申請をする予定があ
り農地の確認をしたところ、この土地の内容が分かったということでした。
現況です。ほんのちょっとの場所ですが、ここだけ農地になっていたとい
うことです。
以上のことから、証明することに問題がないと思われまので、ご審議のほ
どよろしく願いいたします。

議 長 はい、ありがとうございました。
次に、現地調査後の検討・協議の結果について部会での報告をお願いします。
(高橋久委員挙手)

高橋久委員 はい、高橋副部長。
現地を確認しましたら、現在は、黒木はありませんでしたが近くに大きな切
り株が多数ありました。今はツバキや雑木が見受けられましたが、防風林だっ
たことが分かりました。
証明するのに問題ないと思われま。ご審議よろしく願いします。

議 長 報告並びに現地調査後の部会報告が終わりました。
ここで担い手育成部会以外の皆様方のご意見・ご質問をお受けいたします。
(「なし」の声あり)

議 長 それでは、採決に移ります。
番号2番について、原案のとおり証明妥当とすることに賛成の農業委員の挙
手を求めます。
(挙手全員)

議 長 挙手全員でございます。
よって、番号2番は、原案のとおり証明妥当とすることに決しました。

議 長 続きまして、日程第11、議案第29号「農業経営基盤強化促進法第19条
(農用地利用集積計画の公告)に基づく決定について」を議題として、事務局
の説明を求めます。
(吉澤係長挙手)

吉澤係長 はい、吉澤係長。
議案第29号「農業経営基盤強化促進法第19条(農用地利用集積計画の公
告)に基づく決定について」ご説明いたします。
本議案については、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づ

き、日光市が作成した農用地利用集積計画案を決定するために審議をお願いするものです。

今月は利用権設定の案件になります。総会資料は15ページから29ページです。利用権設定は、件数は25件、面積合計は142筆で22万3,452.90平方メートルとなります。内訳は申請の全てが日光市農業公社扱いの案件で、新規が20件、更新が5件となっております。設定をする者（貸人）、設定を受ける者（借人）の住所、氏名及び土地の表示等は申請のとおりとなります。

以上の計画の内容は、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えます。ご審議をよろしくお願いいたします。

議 長

説明が終わりました。

はじめに総会資料16ページの2番について、審議をいたします。

ここで農業委員会等に関する法律、第31条第1項「議事参与の制限」の規定を準用し、24番 吉原浩之委員の退室を求めます。

（ 吉原委員退席 午後5時00分 ）

議 長

それでは、何かご質問等があればお受けいたします。

（ 「なし」の声あり ）

議 長

それでは2番について、原案のとおり決定することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

（ 挙手全員 ）

議 長

挙手全員でございます。

よって、議案第29号のうち、2番については原案のとおり決定することに決しました。吉原委員の入室を許可いたします。

（ 吉原委員着席 午後5時01分 ）

議 長

次に、総会資料25ページの15番について審議をいたします。

ここでも農業委員会等に関する法律第31条第1項「議事参与の制限」の規定を準用し、19番 酒主学委員の退席を求めます。

（ 酒主委員退席 午後5時01分 ）

議 長

それでは、ご質問ございましたらお受けいたします。

（ 「なし」の声あり ）

議 長

それでは議案第29号のうち、15番について原案のとおり決定することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

（ 挙手全員 ）

議 長

挙手全員でございます。

よって、議案第29号のうち、15番については原案のとおり決定することに決しました。

酒主学委員の入室を許可いたします。

（ 酒主委員着席 午後5時02分 ）

議 長

次に、議案第29号のうち、2番と15番以外の案件について審議をいたします。

何かご質問等がございましたらお受けいたします。

（ 柏木委員挙手 ）

柏木委員

はい、柏木委員。

25ページの16番と26ページの19番について、自作がないのに貸すということは可能なのでしょうか。間違いだと思いますけれど、自分で作っているものを貸すのですよね。

議 長

（ 吉澤係長挙手 ）

吉澤係長 はい、吉澤係長。
16番と17番につきましては、元々貸し付けていて、それについてまた新しい方に貸すというような取り扱いになります。

柏木委員 その場合はないわけですか。
吉澤係長 自作の面積が、前月の状態が貸付けに入っていたものが、また新しく貸付けになる状態ですので、入っていない状態です。
19番も同様です。

柏木委員 わかりました。
議長 他にありましたらお受けいたします。
(「なし」の声あり)

議長 それでは、質疑を終結して採決に移ります。
議案第29号のうち、2番、15番以外の案件について原案のとおり決定することに賛成の農業委員の挙手を求めます。
(挙手全員)

議長 挙手全員でございます。
よって、議案第29号のうち、2番、15番以外の案件については、原案のとおり決定することに決しました。
次に移ります。

議長 日程第12、議案第30号「農地中間管理事業の推進に関する法律第19条の2（農用地利用集積計画の公告）に基づく決定について」を議題として、事務局の説明を求めます。
(吉澤係長挙手)

吉澤係長 はい、吉澤係長。
議案第30号「農地中間管理事業の推進に関する法律第19条の2（農用地利用集積計画の公告）に基づく決定について」ご説明いたします。
本議案については、「農業経営基盤強化促進法第18条第1項」の規定による農用地利用集積計画について、「農業経営基盤強化促進法」の基本要項の第9の3の(1)の規定により、日光市が策定した農用地利用集積計画案を決定するために、審議を求められています。
総会資料は30ページから38ページになります。件数は17件、面積合計は32筆で、7万6,767平方メートルとなります。設定をする者（貸人）、設定を受ける者（借人）の住所、氏名及び農地の表示等は、申請のとおりとなります。
以上の計画の内容は、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えます。ご審議をよろしくお願いいたします。

議長 ただ今、事務局からの説明が終わりました。
ご質問等がございましたらお受けいたします。
(「なし」の声あり)

議長 それでは採決に移ります。
議案第30号について、原案のとおり決定することに賛成の農業委員の挙手を求めます。
(挙手全員)

議長 はい、挙手全員でございます。
よって、議案第30号については、原案のとおり決定することに決しました。
次に移ります。

議 長 日程第13、議案第31号「農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定に基づく農用地利用集積等促進計画（案）の意見聴取について」を議題とし、事務局の説明を求めます。
（吉澤係長挙手）
はい、吉澤係長。

吉澤係長 議案第31号「農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用集積等促進計画（案）の意見聴取について」ご説明いたします。総会資料は39ページから40ページになります。
本議案は、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定により、日光市が作成した農用地利用集積等計画（案）について、農業委員会の意見を求められています。本件は申請番号1番及び2番が、令和元年12月1日から令和11年12月31日まで。申請は、申請番号3番が令和2年8月1日から令和12年12月31日までの期間において、農地バンクをとおして、中間管理権を設定したものにつき、先月借手を変更するにあたり解約が出たもので、新たな借手へ賃借権を設定するものです。件数は3件で、面積は11筆2万6,037.00平方メートル、受人の対象者数は3名です。権利の設定を受ける者の住所・氏名及び土地の表示等は記載のとおりです。
ご審議をお願いいたします。
説明が終わりました。
ここでご質問等がございましたらお受けいたします。
（「なし」の声あり）

議 長 それでは採決に移ります。
議案第31号について、原案のとおり同意することに賛成の農業委員の挙手を求めます。
（挙手全員）

議 長 挙手全員でございます。
よって、議案第31号については、原案のとおり同意することに決しました。

議 長 以上で、本日の総会に付議された案件の審議は、すべて終了いたしました。これをもちまして、令和6年4月日光市農業委員会総会を閉会いたします。

閉会 午後5時11分